

4 ゆめのまちへようこそ

図画工作科



授業の実際

2時間目 / 4時間

<導入>

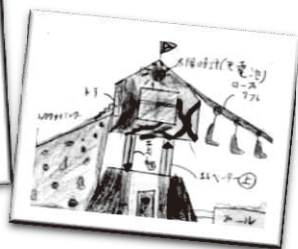
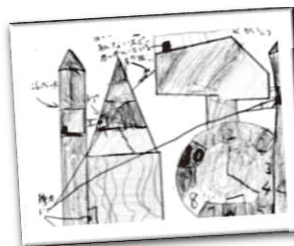
学習のめあてを確認する。



模様や形をおしゃれにしたいな。

面白い形をたくさん使ってみたいな。

💡みんなにとって楽しく住みよい町を想像しながら、建物の形や色を考えましょう。



<展開>

どのような工夫をしますか。
—お互いのアイデアを紹介し合い、情報を共有しましょう—

いろいろなアイデアがあったよ。

屋上を公園にして、みんなが楽しめるようにしたいな。



楽しい町がたくさんあったよ。



人によって求める家が違うんだね。



<終末>

💡みんなの意見をきいて気付いたことを書きましょう。

- 季節やお年よりが楽に登れる所などを、取り入れていたのがとてもよかったです。面白くて子供も楽しめる遊具なども書いていたので、とっても楽しそうです。
- みんなにとって楽しく住みよい町を作るには、人の「楽しい」は人によって違うから、わたしはみんなが楽しめるようにするには、人の意見を聞いて変えていくのがいいと気が付きました。
- 理科で習ったソーラーパネルを使った家や乾電池で、いろいろなところを光らせていました。遊具を使って、赤ちゃんからお年よりまで遊べる遊具を作っていました。
- 住みよい町は、移動などが便利と考えていたけれど、資源を大切にすることも住みよい町になると分かりました。

ESD カレンダーの作成を通したカリキュラム・マネジメント

＜他教科等と関連付けた授業＞ 図画工作科との関連

総合「みんなにやさしい町づくり」

4年生では、「福祉」を主題に、住みよい町づくりについて学習している。町には、家族や友達だけでなく、幼児や高齢者、障がいのある方や外国人などの様々な人々が生活していることに気付いた。

そのような「みんな」にとって、もっと住みやすい町の実現に向けて学習を進めている。

図工「ゆめの町へようこそ」

この題材は、みんなで協力して、段ボールで楽しい夢の町を作ることを目標としている。段ボールの特徴や、今まで学んだことを生かしながら、作る楽しい町の様子を考え、段ボールの使い方や組み合わせ方を工夫させる。

関連付けによる効果

調べたことや考えたことをもとに創造する楽しさや、表現することに対する前向きな思考が生まれた。

自分だけではなく「みんな」という視点に立ち、広い視野でテーマに合わせた作品を創造することができた。

第4回 月 日() 第5回 月 日()

学習課題を見つけて計画を立てよう。

◎「みんな」・「困り」・「工夫」の中で自分の興味のあるものを見つけよう。

	だれ・何	困り・工夫
1		
2		
3		

ワークシート



児童の作品

＜考察＞

昨年度の実践があることによって、1年間の見通しをもちながら学習を進めていくことができた。外部人材・地域資源等を活用することで、児童の問題解決の質の向上や価値観の広がりが見られた。一方で、児童の実態は毎年異なるため、昨年度の実践を踏襲してよい部分と改善すべき部分を見極める必要がある。そのためには、外部人材・地域資源等による専門的な見地も含めた上での単元計画・ESD カレンダーの見直しが必要であると感じた。

＜今後の展望＞

今後は、国語や社会、特別の教科道徳などとの関連にも取り組むことで、問題解決の質を高めるとともに、各教科等の学びを深めていきたい。その相互作用の中で児童の思考の幅が広がり、知識の活用が期待できると考える。